

議 会 広 報 広 聴 委 員 会 記 録

令和4年2月17日（木）
13時30分～15時7分
全 員 協 議 会 室

- 【出席者】三浦委員長、村武副委員長、
肥後委員、村木委員、大谷委員、沖田委員、川上委員、小川委員、
上野委員、川神委員
【議長団】笹田議長
【事務局】近重係長、小寺書記
-

議題

- 1 はまだ議会だよりVol. 65について……………資料1
 - (1) ページレイアウト
 - (2) 掲載記事及び原稿提出締切
 - (3) その他

- 2 広報広聴の取組について……………資料2
 - (1) 取組内容案の協議
 - (2) その他

- 3 その他
 - (1) 読者アンケート回答作成（Vol. 63）
 - (2) はまだ議会だよりmini_11
 - (3) その他

【次回委員会開催予定日】令和4年3月2日（水）個人一般質問終了後 全員協議会室

【議事の経過】

[13時 30分 開議]

三浦委員長

議会広報広聴委員会を始めたい。川神委員が協議が長引いているとのことで出席委員は9名だが定足数に達しているので始めたい。本日の議題は配信のとおりである。ご確認をお願いします。

1. はまだ議会だよりVol. 65について

(1) ページレイアウト

(2) 掲載記事及び原稿提出締切

三浦委員長

小寺書記から説明をお願いします。

小寺書記

(以下、資料をもとに説明)

三浦委員長

今のレイアウト案について質問・意見があればお伺いしたい。

(「なし」という声あり)

では次号はこのレイアウト案にのっとして進めていきたい。これをもとに紙面担当者を決める。説明をお願いします。

小寺書記

(以下、資料をもとに説明)

三浦委員長

今回は当初予算の報告ページが含まれるので、議会広報広聴委員会に初めて参加される委員の方もおられるので、その編集について小寺書記からもう少し詳しく、記事の選定方法などの説明を補足してもらってよいか。

小寺書記

(以下、資料をもとに説明)

三浦委員長

今説明があったような工程で進めていくので、協力のほどをよろしくをお願いします。

それでは担当委員を決める。上から順でよいか。ちなみに市民対談などがあるが前は大谷委員と肥後委員にご担当いただいたので、次号は別の方にご担当をお願いすることになるのでそれも踏まえてよろしくをお願いします。まずは議会の注目事業について。

《 川上委員挙手 》

では川上委員で、お一人だと負担が大きいと思うのでもう1人くらいいかがでしょうか。予算全体を見ながら各所管委員会のバランスも見ながら注目事業について選定と原稿をお願いしたい。

《 沖田委員挙手 》

では沖田委員と川上委員にお願いできたらと思う。次に市民対

談。これはテーマが決まってないのだが、テーマと担当者をこのタイミングで一緒に協議させていただきたい。まず今回は大学生3人にインタビューさせていただいた。今回、候補があれば皆からご提案もいただきたいがいかがか。

川上委員

新年度に向かうので、大きな企業へ新卒で入られる方。JAなり合銀なりの新規採用の方との対談があってもよいかと考えた。

三浦委員長

一つの提案として新卒で入社される方というご意見があった。そのほかいかがだろうか。市民対談が始まってからの歴史を振り返ると、最初が子ども食堂をやっていた方、2回目が当時地域おこし協力隊だった4名の方、3回目が県大の田中先生、4回目が植田さん、前回は大学生という形でやってきている。新卒入社の方、対象者が何人かいらっしゃると思うが、企業の選定をどういう基準にするかとかはどうか。

川上委員

極力、地域に根づく企業がよい。先ほど私は合銀と言ったが異動があるのはなるべく避けていただいて、そこへ根づく方々の話を聞くのがよいと考える。

村武副委員長

川上委員の提案もすごくよいと思うが、インタビューするのが3月で、まだこの時点で入社されてない。この議会だよりが出たときは入社後だと思うが、何かあったらいけないと、少し思った。

川上委員

不測の事態はあり得るかもしれないが、私の気持ちとしてはこれからその企業に入って、地域のためにどのような活動ができるのかを述べていただく、それをまた聴くということもありかと考えて提案した。

大谷委員

今提案のあった地元で働かれる人というのはよい視点かとは思いう。副委員長からご指摘のあったことで思いついたのだが、音楽で浜田に来られた方がテレビでも話題になった。そういう方を取り上げて、議会サイドからも視点を当てるのはいかがかと思った。

川上委員

大変申しわけないが、音楽でこちらに来られた方々の顔を出して意見を聴くのはよいが、あの方々がこちらに来た関係で仕事が無くなった方もおられるので、極力避けていただいたほうがよろしいかと思う。実際に話を聞いている。

三浦委員長

事業をさまざまに捉えている方がおられるということなので、それは川上委員が伺われたご意見もあるだろうし、大谷委員がおっしゃるように、実際にそういう方々が来られている事実もある

ので、そういったところはどういう視点で取り上げるかを今後協議していけばよいかと。それぞれご意見はいろいろあると思う。そのほかどうか。別のアイデアがあれば伺いたい。

小寺書記

今まで候補に挙がっておられた方、過去あったが、石見神楽関係者、まちづくりコーディネーターもあった。また協働のまちづくりが始まって1年ということもある。三浦委員長が言われた、あったかいいねっとのときは福祉関係、大学となると総務関係。そうなる産業関係があってもよいのかなと思った。

三浦委員長

そのほかいかがか。皆から出していただいて協議したい。

沖田委員

比較的若い方が多い。例えば昔からこちらに従事されている農業・漁業の方もあってよいかと思った。

三浦委員長

メディアなどで取り上げられることが多い方、多い職種だけではなく、地域の、小さくても活動されている方に光を当てようとか、前から委員会でもそういう声は上がっていたので、必要な視点かと思う。

改めてだが、この市民対談ははまだ議会だよりの中で紹介するものであって、そのときに議会がどういう視点を持ってその方を紹介するかが大事なところなので、ほかの広報誌などで紹介するものとは、議会が紹介するのはなぜか、というその視点が重要だと。今なぜ議会がその方々を紹介するのかが大事だと思うので、それも含めて皆にご検討いただきたい。沖田委員、具体的な方が思い浮かぶか。

沖田委員

自分はどちらかという和海寄り人間なので、漁業関係の方などが多いが、例えば思いつくところでいうと唯一残っているまき網の船長とか、公設売場で仲買をされている方もおられるし、例えば定置網の船長もよいかと思った。もちろん農業されている方でも、例えば振興作物をつくられる方でも、米をつくっておられる方でもよい。第一次産業に従事されている方もどこかで1回あったらどうか思っている。

上野委員

振興作物を継承する後継ぎがないので、そこを借りて梨園をやろうと都会から来られた方が子どもを連れて、旭から金城へ移られて、空き家を買って自分で全部リフォームされている。すごく生き生きしておられ、こちらへ来てよかったと。梨も僕らの近くの人がするよりもネットで売っている。どのくらい収入がある

三浦委員長

かわからないが。そういう人もいる。取り上げてみたい。

今さまざまに意見をいただき、整理すると、この春に入社される新卒の方、音楽で移住されてきた方々、石見神楽関係の仕事に従事されている方、まちづくりコーディネーター、一次産業の従事者ということで、まき網、仲買、いろいろ出たのだが、振興作物を育てていらっしゃる方も視点の一つとしてあるかと。そこから派生した形だが移住された方。都会地から移住されて浜田で暮らされている方。そういった方をご紹介してはどうかと。今出た中で今回こういう視点で取り上げたらどうかという意見が改めてあれば伺いたい。

川上委員

今全国もあるし浜田もそうだが、コロナ禍の中で一次産業はどのような位置づけになっていて、どのような苦勞をしているか聴くのもよいかと。沖田委員が言われた一次産業の方を少し聞いてみる。逆に言えば一次産業と加えて商業も含めて、漁業、農業、商業、三つどもえで話を聴くのもありかと考えた。

三浦委員長

そのほかいかがか。

村武副委員長

今まで出られた方の中で浜田地域の方が多かったと思うので、上野委員が提案された方が、総合的に見てよろしいかと感じた。

三浦委員長

そのほかいかがか。一次産業と、そこから派生しての上野委員の提案だったのだが、一次産業に従事しながら移住されている方、二つの視点があるかと思う。このいずれかの方向で決めていってもよいかと思う。

一次産業の場合は先ほど川上委員が提案されたように、水産業、漁業、いろいろな形があるが、紙面が限られているので、過去の事例を振り返ると複数の方が出られると、記事のボリュームがどうしても少なくなってしまう。それぞれに取り上げていくのも十分取材しがいがあると思うので、今回は絞ってもよいのでは。

移住者の方はさまざまな形で来ている方がおられるので、どういう形で、議会としては移住やコロナ禍における価値観のいろいろな変化などがあるという文脈で、どういう方を紹介すべきかという視点で人選するのがよいかと。先ほどご提案のあった方がどうだという話ではないが、そういう視点で選んだほうがよい。どうだろうか、このタイミングで一次産業もしくは移住者。

小寺書記

今までの決め方でもあったと思うが、原稿の担当をまず決めて

今いろいろ案が出たので担当になった方がやりやすいように、というやり方も一つあるかと思う。

三浦委員長

ご提案感謝する。では、今皆からいただいた意見を参考にしながら今回の担当者の中で、幾つか絞った形にはなっているが、参考取材をしていただくという流れで進める。よろしいか。

(「はい」という声あり)

ではご担当を。今回私が担当しようという方がおられたらぜひ立候補いただけるとうれしが。いかがか。カメラマンとインタビュー補佐はこちらでさせていただく。

肥後委員

県大生のインタビューをさせてもらったのだが、先ほどの話で、今回は私と大谷委員以外でという話があったので残念だと思っていた。私は逆にこの間で人の話を聴いて文字に起こして文章で、というのは自分の勉強にもなったし、知らない世界があって深く考えさせられたので、個人的には取材させてほしい。

三浦委員長

それはぜひ自薦ということで。前向きに捉えていただきたい。では肥後委員にお願いして。もう一方どうだろうか、ご一緒されるか。村木委員どうだろうか。初めての議会広報広聴委員会であるし、先ほど肥後委員がおっしゃったようにいろいろインタビューするのはおもしろい時間だと思う。ご負担はいただくが、ご協力をお願いできるか。では今回の市民対談は肥後委員と村木委員にお願いして、テーマについては先ほどの協議を参考にさせていただきながら人選をお願いしたい。よろしく願います。

次は委員会活動レポートだが、スペース的には1ページなので3から4委員会分かと思うが、それぞれ所属されている委員会の中でこのタイミングでこれを紹介したいという事項があれば、執筆のご担当をお願いできたらと思うがいかがか。議会改革推進特別委員会どなたかいらっしゃるか。大津のウェブ視察はいつか。

小寺書記

3月18日の予定である。

三浦委員長

では一つ、議会改革推進特別委員会のウェブ視察の報告をお願いしてよいか。スケジュール的には間に合うか。

小寺書記

23日を原稿締め切りにはしているので、18日の後で。

三浦委員長

少し短いですが、小川委員に願います。

川上委員

産業建設委員会だが、新規予算の扱いとして考えさせていただきたい。出せば出したいのでよろしく願います。

- 三浦委員長 あとは広報の視察受け入れがあるが、あれは日程がまだ決ま
てないのか。
- 小寺書記 24日か25日というところなので、少し難しいかと。まだ正式に
申し込みがないのでどうかと。あればもちろん載せてよいと思う。
- 三浦委員長 福祉環境委員会はどうか。総務文教委員会は今度執行部からの
ヒアリングなど。テーマはもう決まっているのでそれに対して委
員会としては活動している。
- 小寺書記 総務文教委員会の執行部ヒアリングは3月23日だったので、そ
れも載せられるかもしれない。
- 三浦委員長 特別委員会の設置のスケジュールはどうか。
- 小寺書記 3月定例会議の最終日。
- 三浦委員長 では議会運営委員会からの報告は一つ書いていただける。特別
委員会の設置については大きな動きだと思う。総務文教委員会は
討論テーマがもう決まっていて、それに関して執行部からのヒア
リングを次回していくということで活動の中身はあるのだが、視
察するなどはない。ただ、委員会の経過報告は書ける。
- 小寺書記 議会改革推進特別委員会、総務文教委員会、議会運営委員会、
あとは産業建設委員会がどうか。
- 三浦委員長 前号の委員会活動レポートを配信できるか。
- 小寺書記 前は四つの常任委員会と議会運営委員会と議会改革推進特別
委員会、全て載せた。
- 三浦委員長 総務文教委員会の場合はテーマを選定したということでも一つ
書けると思う。議会運営委員会は特別委員会の設置について取り
上げる。議会改革推進特別委員会は視察の様子を報告。1ページ
しかないので、コンパクトでも活動の様子が少しずつでもわかっ
たほうが、読者に動きが伝わりやすいと思う。例えば総務文教委
員会なら、テーマをこういうものにしたということで、決定まで
の経過を説明するというのであれば、場合によっては前回の半
分くらいでもよい。そうすると福祉環境委員会も産業建設委員会
も簡単でも伝えていただいても。3常任委員会にそれぞれずつ
書いていただいて、あと議会運営委員会と議会改革推進特別委員
会にそれぞれ書いてもらう。
- では3常任委員会で原稿を担当していただける方は。委員会活
動レポートの原稿を書いてもらう。産業建設委員会は先ほど川上

- 委員が内容を検討するとのことだったが。
- 川上委員 産業建設委員会についてはもちろん検討するが、沖田委員と2人とも別記事があるので、上野委員を含めた3人という形で考えさせてほしい。
- 三浦委員長 ではここは各委員会それぞれで協議してまとめていただく。議会改革推進特別委員会と議会運営委員会だけどなたかご担当いただきたいが。
- 小寺書記 議会改革推進特別委員会は小川委員で。
- 三浦委員長 議会運営委員会に出ておられる方。皆もう担当は決まったか。では私がやる。
- 次、読者アンケートは村武副委員長にお願いさせていただき、次回の設問の協議をすることになっている。V o 1 . 64の読者アンケートだが、市民に聞きたい事項があればお願いします。コロナ禍における皆の意見などはこういうアンケートで聴くのはなじまないものだろうか。この間もコロナ対策支援本部会議があったが、市民からこういう声があるということ各会派から持ち寄って協議した。こういう問いかけをするのであれば一つの手段かと。こういうことを言いながらコロナ対策支援本部会議のことを書かなくてよいのかと思った。もしご意見があれば。
- 大谷委員 コロナの件、今すぐ問いかけるならよいと思うが、載せるのは5月。5月がどうなっているか予測がつかない状況の中で、もしも鎮静化しているとテーマとしては、タイミング的に不安である。
- 三浦委員長 タイムリーに何うという意味では、読者アンケートという形ではなく別の方法で投げかけて、常時いろいろな形で声を届けていただくことはできるので、そのほうがよいかもしれない。
- そのほかどうか。今までアンケート設問2を除いて自由回答だけにした場合はあったか。
- 小寺書記 あまりないのだが、リニューアルのタイミングで、紙面で気になったのはどれかというのを入れたことはある。
- 三浦委員長 今は委員会もそれぞれテーマを決めた段階で、具体的に何か聞きたいといった設問までまだ協議も難しいところもあるので、今回の紙面の中で気になったところがあるかや、自由表記のみだけでもよいかと思う部分はあるがどうか。
- 小寺書記 例えばだが、今回予算の注目事業を八つ掲載すると思うので、

気になっている事業はどれか、その理由も載せてもらうなども一つあるかもしれない。

三浦委員長

提案として、予算のところでは何うというのがあるがどうか。皆から特段ないようなので、予算ページのことを伺おうか。紙面もこれで1年やってきて、紙面に対する感想を聞いてもよいと思うが。では紙面に関する設問をこちらで設けさせていただき、3番の自由意見はそのまま残して今回の読者アンケートは取らせていただきたい。

では担当が決まったので確認する。議会注目事業については川上委員と沖田委員、市民対談については肥後委員と村木委員、委員会活動レポートについては3常任委員会についてはそれぞれの委員で協議、議会改革推進特別委員会には小川委員、議会運営委員会は私、読者アンケートは村武副委員長、以上でよろしいか。

小寺書記

担当の方の名前を上げていただいたが、委員会活動レポートが3常任委員会あるが、まだ担当されていない方がちょうど、大谷委員、川神委員、上野委員と分かれていますので、その方でされたらどうかと思ったのだがいかがだろうか。

三浦委員長

皆の仕事がちょうど埋まった。委員会の中で執筆内容については協議いただいて、ボリュームはそれほど大きくないと思うのでそれぞれの委員で少しまとめていただき、全員でつくる紙面というところで進めたい。ご協力よろしく願います。はまだ議会だよりの役割分担は以上で終えたい。

(3) その他

三浦委員長

ほかに65号の議会だよりについて皆からご意見等あるか。

(「なし」という声あり)

では議題2に移る。

2 広報広聴の取組について

(1) 取組内容案の協議

三浦委員長

今回は現状を整理したものを皆にご提示しつつ、今後の取り組み内容を決定したい。配信された年間計画をもとに小寺書記から説明をお願いします。

小寺書記

(以下、資料をもとに説明)

三浦委員長

この年間活動計画案については事務局ももちろん正副委員長と一緒に協議して今日お示ししている。小寺書記から説明もしてもらったのだが、こうして年間どういう動きかを改めて整理するとなかなかイベントを打つタイミングなど結構難しいと改めて皆にもおわかりいただけるかと思う。

まず整理したことについて私から改めて補足だが、沖田委員からご提案があったいろいろな業界団体との協議については、議会広報広聴委員会から議会全体での広聴機能を高める意味で所管委員会でもそれぞれの関係団体と意見交換を常に行っていたきたいという申し入れを以前させていただいたこともある。また改めてこちらから各常任委員会へお願いするというので、再度提案するというのでどうか、というのが一つ目。

地域協議会との意見交換会を7月のタイミングに持ってきたのは、4月になると顔ぶれが変わるということで、前回実施した5月はちょうど顔が変わったときでなかなか新しい方は情報をご存じない方もおられた時期だったので、このくらいの時期にずらすことで皆にも活動や地域の実態を把握してもらいつつ、そこでのタイミングのほうがいろいろと意見が出やすいのではないかとということで、7月のこのタイミングに案としては置いている。

はまだ市民一日議会（以下、市民一日議会）は、引き続き実施する方向で進めたいと思っているが、規模やルールなどの整理に課題がまだあると思うので、このくらいの時期的なめどを立てておいて整理していく方向で進めたいと考えている。

議会報告会だが、これは地域井戸端会、つまり市民から意見を聞くのではなく、議会がどのようなことをやっているのかを、春の時期は予算編成後に当初予算の説明を、若干時間を使ってするというスタイルで議会報告会が行われていたと思う。当初だけではなく、議会は定例会議を年4回やっているし、そういうタイミングでYouTubeを使って議会報告をしていく。そういうアクションをすることで、詳しくははまだ議会だよりを見てくれとか、また議会に来てくれとか、そういった効果的な報告ができるのではないかと。アーカイブもされるのでいつでも見られるということもある。Zoomで議会報告会をやったらどうかといった意見も出ていたので、まずはこちらからの発信としてこういった

やり方もどうかと提案するものである。ただこれも、では誰がやるのかということがあるので、我々の中では議長団にお願いして定例会議の終了後などに、今回の定例会議はこうだったというような、議会の顔として簡単なものだが説明いただくのがよいかと思っはいるが、議会広報広聴委員会の中でそれを率先してやっていこう、あるいは交代制にして全議員でやっていくとか、いろいろなやり方があると思う。Y o u T u b e の議会報告も一つの提案である。誰がやるのかも含めて皆と協議したい。

全体含めて、今説明させていただいた中でわかりにくい点があればまずお伺いしたい。

笹田議長

Y o u T u b e でやるのは非常によい。少し見えない部分があっ、て、広報広聴のことなのでどういう広報をするかは委員会で決まていただけたら我々は代表として市民に伝えることはやぶさかではないので、そのあたりをしっかりとつくっていただければ対応は幾らでもやる。

三浦委員長

どなたがそれを最終的に担当されるかの問題と、そこで何を伝えていくかは全部任せ切りではなく、今議長からもご指摘があっようなにある程度この委員会の中で協議した上でご協力を求めていく形がよいと思っている。きちんと考えていく。

笹田議長

映像は残るので、例えば案としては我々だけではなく産業建設委員会の報告なら産業建設委員会の委員が出るとか、いろいろな方が出演してしっかりと伝えることが必要だと思っ。スペシャリストがいるのでそこでしっかりと伝えるほうが、より市民にわかりやすいと思っ。そのあたりをしっかりと議論していただきたい。

三浦委員長

ご提案のあつた、例えば議長団プラス各委員長など、そういうやり方もあると思っ。どのような内容を発信するか、発信する内容によってどういう形がベストなのかは協議する必要がある。

ほかに全体の説明の中でわかりにくい点があつたらうか。なければご提案させていただいた一つ一つについて、テーマごとに議論していきたい。よろしいか。

(「はい」という声あり)

一つ目は、各委員会へ広聴機能の強化の一環で改めて議会全体でやっていこうという趣旨の申し入れというか、各委員長に対して共有するアクションを、当委員会から持ちたいと再度考えてい

- るのだが。沖田委員いかがか。
- 沖田委員 別に広報広聴にこだわっているわけではなく、議会としてということと言ったつもり。委員会であるのであれば結構である。
- 三浦委員長 皆いかがか。よろしいか。では文面については前回のものを少し参考にしながらこちらで再度つくらせていただき、皆に一度確認していただいてから3常任委員長宛てに出すという流れで進めたい。また文の内容チェックのご協力をよろしくお願いいたします。
- 次、地域協議会との意見交換会だが、これも継続して行きたいと考えている。先ほどの理由から7月をめどに各地域協議会にご案内して。コロナ禍の一つの対策ではあるので、今までどおりの不特定多数の方が集まってというのがなかなか難しい中で、地域の代表者である地域協議会の方々と意見交換会をするという、代替案ということを再度ご説明しつつ、こういう機会を7月に提案してみたいと思うのだがいかがか。
- 小寺書記 補足で、その他広報のところに地域協議会で議会報告というのがあるのだが、地域協議会で意見交換会を行う際に少し議会報告の時間も設けさせていただき、地域の代表者に来ていただいているので地域にもおろしてほしいと言えたらよいかとも考えている。
- 三浦委員長 貴重な機会なので、議会の取り組みをしっかりと現場でもご説明させていただければよいかと思う。ご意見がなければこの時期に開催を提案したい。よろしいか。
- 大谷委員 開催そのものはよろしいかと思うのだが、地域協議会のイメージがいま一つ飲み込めてない。前に説明があったかもしれないが確認したい。教えてもらえないか。
- 三浦委員長 地域協議会の方々と議会が意見交換をするということはこれまで全くなく、昨年初めて実施したものである。議会として行う議会報告会あるいは地域井戸端会をやっていたが、コロナ禍で同じスタイルで地域の方々のご要望やご意見を聴く場が持てないということで、地域協議会の方をパートナーとして意見を伺う場をつくろうではないかと。何もしないと広聴機能は低下してしまうので、これまでのやり方にかわるやり方で、かつ地域協議会と意見交換をしたことがなかったという過去を振り返りながら行った。
- 大谷委員 地域協議会は何か所か分かれてされるのか、その会合には地域から何人くらいが出てきているのか。我々議会サイドは何人くら

三浦委員長

い出るのか。そういう会合のイメージを教えてください。

地域協議会は市内に五つある。前回は各地域協議会と行った。各地域協議会にそれぞれ委員会の中で、所管委員会を分散させた形で地域に偏りがないように、あるいは所管委員が偏らないように、3常任委員会がばらけるように五つに振り分けて、協議会に出向いて、そのメンバーの方々と、前回はフリーディスカッションに近いものだったのだが、事前に協議会の正副会長にご挨拶に伺って、それぞれ協議会ごとにやり方は異なったのだが、事前に協議会メンバーからこれについて議員と話がしたいというテーマを出していただいたところもある。そういう中で日程を設定して協議した。協議会から出てこられるメンバーは地域協議会を実施する、開催する中で、議会との協議時間を設けていただいて。別途持っていただいてもよかったのだが負担が大きくなるので、基本的には協議会を開催する日程の中で、議員との協議時間を設けていただいたという事例が多かったように思う。対象となる方々は協議会メンバー全員である。

大谷委員

確認だが、時期的に各地域で地域協議会が開催されて、その会合に議員側が分担して出かけていろいろ話を聞いたりするということでよろしいか。

三浦委員長

各地域協議会の開催日程はそれぞれで異なるので、それぞれの協議会の方々と各派遣されるグループとで協議して日程を調整する。したがってここから、これくらいの時期にやろうと決めて取りかかったが、最初と最後では1か月くらい差があったろうか。

小寺書記

昨年は5月末に金城から始まり、三隅、6月頭に浜田、7月に旭、最後が弥栄という形だった。

三浦委員長

少し幅があるが、先方の開催希望日に配慮させていただきながら決めた。

ほかにあるか。7月、このくらいの時期をめどにということでご案内して、進めていきたい。事前に各地域協議会の方とすり合わせも必要になってくる。7月末を想定しているが、事前に動いていく必要があると思う。スケジュールをきちんと組んで進める。

では三つ目、市民一日議会の実施である。人数だけ10名と書いてあるが、ルール等の整理は今後必要として、まず開催すること、それから10月のこの時期に開催時期を定めること、そうしたとこ

川神委員

ろを少し当委員会で共有しておきたい。いかがか。

会議の遅参で申しわけない。以前も話したと思うが、コロナ禍中での一つの方法としてこの場所にお呼びして市民の意見をしっかり拝聴するという流れで行っていたが、多くの課題は残したため課題整理をしながら。また市民からもYouTubeに流れ、情報があちこちに広がり、よかったという声が多かった。あのような雰囲気では議会はやっているのかということも含めて積極的に、年に1回のみならず可能な限りやったらどうだという意見もいただいている。第1回目で10人以上の応募があったということだが、それも幅広い議論をしながら多くの方々の意見をしっかり拝聴して議会に生かすという、当初の目的が達成できるような形で、きめ細かいルールも決めながら進めていくのが必要だと思うし、日程的に今からいろいろやって10月というのは妥当な時期ではなかろうかと思う。この時期を目指し委員会として取り組む。これが前回マニフェスト大賞の賞を受賞したからではないが、市民の中でも議会に対する大きな話題提供ということでも、ここは特に特化してやる必要もあると思っている。あまりマイナスを見ず、より多くのプラスを見ながら進めていく必要があると思っている。

三浦委員長

前回実施した後に課題はさまざまに出てきているので、そうしたところは実施を目指す中で一つずつ解決していきながら2回目を迎えたい。ほかにいかがか。

川上委員

時期的にも適当な時期にやろうと思うし、一つずつクリアにしていって計画していくのが大事だと思う。同時に、市民の意見を聴くのは非常に大事なのでぜひやっていきたい。

三浦委員長

ほかに。

川上委員

全国的に見て、例えば子ども市議会、女性市議会など、今は多様性の時代なのでそれを区別しながらというのは少し違うと思うが、今回中学生や高校生といった若年層や学生に出ていただいた。全国的に見ると高齢者や、かなり意見を持っている方が多く出てくるが、若年層や青年層が出やすいようなアピールの仕方、募集の仕方をするのが、いずれこの地域を担うのはそういった若者になるのだから、その辺がしっかり出て意見が言える環境をつくるのが、浜田市の、市議会に対しても政治に対しても協議を高めるということなので。大きなステップとして意味があると思う。

思いの強い年配者も大事だが、そこへ行って言えるのだと、女性や学生に対するアプローチを少し強化していったらどうか。

三浦委員長

第1回目は幅広い方にご参加いただいた。なかなか議会に縁遠い方もおられる中で、より議会を身近に感じてもらう一つの大事な機会になると思う。そうしたところは、これから改めてルールをつくっていく中で意識していきたい。ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

一旦この10月という時期をめぐりに市民一日議会の実施に向けて協議を進めていきたいと思うので、ご協力をよろしくお願いする。

4点目は先ほど議長からもご意見をいただいているが、Y o u T u b eによる議会報告である。議会活動を発信していく意味で。通年会期でもあるし、常に委員会も動いているのだが、一つわかりやすく定例会議の後にそのタイミングなど。年4回を考えているところであるが、もっと増やそうということであればやりながら、4回が8回になり、12回になるかもしれないが、一旦定例会議ごとのY o u t u b eでの発信をやってみてはどうかと思う。費用もかからないし、まずは委員のご協力とご理解をいただきたいのだが、この取り組みに関してはどうだろうか。

川上委員

非常によいことだと思うので、ぜひやっていただきたい。ただし、私も先日15日に自分の映像を見たが、撮り方はもう少し考えないといけない。工夫しながら出していくのはよいことだと思う。

三浦委員長

ほかには。

肥後委員

こちらから議会報告としてY o u T u b eで発信するのは、市民にとっても、ほかの方にとっても参考になるし、より開かれた議会、言葉としてはありきたりではあるが、本当に市民に向けて開けて、とてもよいことだと思う。最初から100点を目指すのは難しいが、どんどんブラッシュアップして、やればやるほど皆上手になると思うし、市民の理解が深まると思う。

Y o u T u b e自体は今までも、こういう委員会や個人一般質問等流れているが、それはあくまで俯瞰で撮った状態だが、このY o u T u b e議会報告というのは考えてみると少し意味合いが変わる。視聴者、市民に向けて情報を本当に発信する、言葉として投げかけるので、とても意味があると思う。

先ほどの話に戻ると市民一日議会は市民が議員、市に対して意

三浦委員長

見を申し上げる時間があるので、これはより他人事だった政治が身近になるような思いがある。どんどん頑張ってやっていこう。

ほかの委員からはいかがか。

(「なし」という声あり)

では一旦ご提案させていただいた年4回の定例会議ごとの計画で進めたい。誰がどのような形でやるのかだが、これはどのように決めようか。ここの中で協議したほうがよいか。先ほど議長から、議長団としてももちろん協力するという前向きなメッセージをいただいて、その提案と併せて委員会ごとに委員会のトピックスなどを話すスタイルでどうかという提案もいただいて、なるほどと思ったところだが、そのようなスタイルで進めてみるか。先ほど肥後委員もおっしゃったように、視聴者向けにわかりやすく情報を伝えていかないといけないので、少し構成も考えないといけない。構成案を考えて、やることには皆ご賛同いただいたという認識でいるので、案をつくって皆にまた投げかけてみる形を取りたいと思うが、小寺書記、その流れでよいか。

小寺書記

はい。

三浦委員長

ではそのような形で、ご協力をよろしくお願いします。

年間スケジュールについては、もちろん議会だよりと議会だよりminiについてはこれまでどおりの流れで進める。これも改めてスケジュールの把握をお願いします。

このような形で1年間、進めていきたい。よろしくお願いします。

(2) その他

三浦委員長

ほかに何か。

小寺書記

前々回の委員会のときに県立大学との共同研究の話をさせていただいたと思う。これについては今、主権者教育のことを提案しているところである。今後3月の中旬くらいに担当課から採択されたかどうか連絡が来る。採択された場合はまた県立大学とも一緒に主権者教育の取り組みを進めていく。ご確認いただきたい。

三浦委員長

そのほかあるか。

(「なし」という声あり)

3 その他

(1) 読者アンケート回答作成 (Vol. 63)

- 三浦委員長 ご意見をいただいたものへの返答だが、今回の2件については前向きなご意見をいただいて大変うれしく思っている。案をこちらで考えた。これでよろしいか。
- 川上委員 つくっていただいて大変申しわけないが、ご好評ありがとうございますというのは向こうがよいと言ったときであって、それは控えておいて、ご評価いただき、に直したほうが私はより一層よいのではと思う。
- 三浦委員長 よろしいかと思う。
- 川上委員 それからできれば引き続きの部分も、引き続きお手に取っていただけるよう心がけていく、に変えたらいかがか。
- 三浦委員長 「ご評価いただきありがとうございます。引き続きお手に取っていただけるような編集を心がけます」とする。よろしいか。
(「はい」という声あり)
ではこのような形でご返答させていただきたい。

(2) はまだ議会だよりmini_11

- 三浦委員長 3月1日発行分のminiの原稿について。原稿執筆のご協力に感謝する。今配信のとおりだが皆はいかがだろうか。大丈夫か。
- 大谷委員 紙面を見て、黒が多い。少し色があるとよいかと。「3月14日は何の日」は赤でどうかと思った。
- 三浦委員長 了解した。ここは全体のバランスを見てデザインを修正する。
- 大谷委員 黒ばかりだと、スポットが当てにくいので、見てもらいたいという意味合いもある。色をつけられるところはつけたらどうか。
- 三浦委員長 事務局と協議して検討する。小川委員と大谷委員におかれては執筆のご協力に感謝する。
- 村武副委員長 miniはウェブでどのくらい見られているかがわかるか。
- 小寺書記 ちょうど政策企画課にminiのページの閲覧数を確認した。ただ、ウェブページなので、そのページを開いた回数というのが出るので当然私も結構チェックするので見ている。議員の皆が見られるのもカウントされているとは思いますが、1年分の閲覧数のデータはもらっているので、後で提示させていただく。
- 村武副委員長 私も今まであまりPRしてなかったのだが、議員はそれぞれSNSなどやっておられると思うので、これが出たらPRをしてい

三浦委員長

ただけると大変うれしい。

そうした呼びかけも各議員に改めてさせていただいたほうがよいかと思う。それは適宜、発信のご協力をお願いしていきたい。
m i n i についてはよろしいか。

(「はい」という声あり)

先ほど大谷委員から指摘があった部分を再考して、3月1日に発行したい。今までの過去のものは、議会事務局の入り口にラックが設置され、あそこに本誌とm i n i も出ているので、色鮮やかで大変よいと思いながら。ぜひ皆も、たくさんの方手に取っていただけるように広報をお願いする。

小寺書記

小寺書記、数字がわかったか。

m i n i のウェブページは2020年10月からあるが、数字は2021年4月からの確認である。4月の月間閲覧数が275、5月は91、6月は134、7月が185、8月は231、9月114、10月236、11月358、11月は改選に絡めて載せたので少し多いのかもしれない。12月が107、1月が255、2月は14日までで61。大体100、多いときで300台という感じである。

三浦委員長

閲覧数増加のため、皆のご協力をお願いする。

小寺書記

このデータはタブレットに入れておく。

三浦委員長

改めてm i n i の発刊がウェブでされているということを各議員にぜひ広報のご協力をと、メールでのお願いなのか、どこかのタイミングで、全員協議会でお願いするのか、少しそういう機会をまた検討してもらえたらと思う。よろしく願います。

(3) その他

三浦委員長

皆から何かあるか。

笹田議長

今回、総務省から常任委員会がリモートでもできる形で改正されることになる。何かあればタブレットを使って開催できることになる。議会広報広聴委員会で、例えば原稿の校正などは出てこなくてもタブレットでできる可能性もある。また、そういったときにどのようにやっていくか、モデルみたいな形でやっていく必要があるのかと思うので、委員会でしっかり協議していただきたいのが1点と、今は議会改革というよりも、議会機能向上のほうが全国的には言われており、タブレットがあるのでぜひこれを使

った広報広聴機能をもう少し推進していかないといけないのでは
とっている。この間も福祉環境委員会で重要案件の意見交換会
をする予定だったのだが、コロナの関係で中止になった。そうい
うものがお互いになれば中止にせずともやれる可能性が出てくる
ので、そういった意味ではこういったものを使った広報広聴も生
かして、負けないように。既にやっているところもあるので、ぜ
ひ活用していきたい。その辺の調査研究もお願いしておきたい。

三浦委員長

あらゆる形で対応できるように、随時検討していきたい。皆で
も何かよいアイデアや情報があれば、ぜひこういう場で共有でき
たらと思うのでよろしく願います。

最後になったが次回委員会の日程を確認しておきたい。3月2日
水曜日の個人一般質問終了後を予定したいと思うが、小寺書記。

小寺書記

こちらについては皆に少しご相談もさせていただいたところ
である。この日程で開催する理由としては、2月28日が読者アンケ
ート、今V o 1.64でやっているものの締め切りであり、こちら
を直ちに回収し、各所管委員会に振り分けたいため、この日程と
なっている。具体的に言うと3月4日から総務文教委員会があるの
で、それを目指してという流れである。委員におかれては2月28
日から3月2日にかけては個人一般質問があつて議会におられる時
間が長いとは思いますが、各担当のまちづくりセンターの確認を28日、
もし28日が休みのところであれば27日などにしていただき、3月1
日には回収をお願いできればと思うので、ご負担をおかけするが
よろしく願います。2日の委員会では読者アンケートの振り分
けと併せて4月1日出す予定のm i n iの内容にも少し触れられ
ればと思っているので、よろしく願います。

三浦委員長

皆にはご負担をかけるがよろしく願います。ほかにあるか。

(「なし」という声あり)

では、以上をもって議会広報広聴委員会を終了する。

[15時 7分 閉議]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 三浦 大紀